

2024年度

ことりくみ

クラスだよい

教養教会幼稚園 園長 有岡史季

2月10日 発行 勉筆者 吉野ともみ

立春を迎えたが、寒い日が続いています。あたたかい春の言われか待ち遠しい今日この頃です。3学期に入り、園生活の中で色々な事に意欲的に挑戦してみる姿が多く見られます。素晴らしいです。残り少ないことり組での日々を大切に、ゆったりと過ごしていきたいと思います。

さて、今回の「クラスだよい」は生活発表特別号です!!見どころや取り組みの本末子、題材に込めた願いをお伝えします。

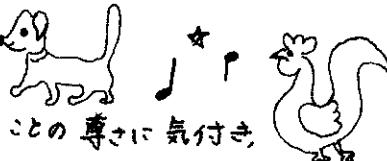
「フレーメンの おんがくたい」

作:グリム兄弟

~あらすじ~

年をとり、働きなくなったらばは、フレーメンの町に行き、音楽隊に入ろうと思ふ立ちは。道を歩いていくと、同じく食い主から必要とされなくなった犬・猫・いわとりに出会います。動物たちにはロバに言ふわれ、一派にフレーメンを目指します。日が暮れるまで歩き、疲れた動物たちが体もうとすると、遠くにメリヤカ見えます。そこにはなんとどうぼうたちか!...「馬鹿走か」沢山あることを知った動物たちは、どうにかしてどうぼうを追い出そうと相談し、ある作戦を思いつきます!力を合わせることか!必要なこの作戦...

さてうまく行くのでしょうか...

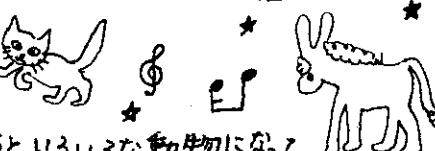
~教師の原稿~

ロ々ホカタ☆

~見どころ~



虎の取り組みを通して、お友達がいることの尊さに気付き、力を合わせて一つの虎を仕上げていく楽しさと分かち合って欲しいと思いました。セリフや動き楽しみながら覚え喜んで演じることはもちろん、小道具や大道具を作ら時にも友達と協力しながら樂しく取り組むことができるようになります。またそんな風に楽しさを共有して目標に向かって取り組む姿は動物たちが「フレーメンの町を目指したり、力を合わせてどうぼうを追い出そうとしたりするお話「フレーメンの音楽隊」にも通じているように思いました。この虎をみんなで演じることで、さらに一緒に楽しむことの喜びを知り、これから園生活の糧に繋げていけたらと願っています。

~取り組みの様子~

歌「トーレミのまほう」♪

導入として「なりきり遊び」を行い、子どもたちといろいろな動物にならず遊びを楽しみました。その後、絵本を通じて寝むと「さつきと同じ動物が出てきた」と自然に絵本の世界に気持ちが寄り添います。「も」と綴きか「したい」という声が「あかり」。今度は絵本の流れに沿って泥棒になつたりしながら豪りごごを楽しみました。すると「もう1回やりたい」と更に意欲も高まり、子どもたちはどんどんおはなしの世界に引き込まれていきました。教師が手や背景があるともっと楽しくなるね」と問い合わせると子どもたちからは「『駄走がいる』靴や芦が『あったらいい』大きな紙に絵本を描きたい」「お絵も欲しい」とさまざまなアイディアが生まれます。生活班ごとに何を作りたいか相談し合い、みんなで駄走等の小道具を作り作っていました。出来上がったものを泥棒の仕草を真似人して食べてみたり、気持ち良く寝ている動物が起きたらどんなふうに怒るかな?と想像を膨らませながら更に表現遊びを広げ、虎へと繋げていきました。

「どんな夢もかなう」「さあ手を繋いで」一緒に遊ぼうよなど「ロズ」などと「どんどん明るい」気持ちになつていい曲です。ことり組のおも連が反対と楽しい事に夢中になりながら心豊かに成長していく!欲しいと願いを込めて選曲しました。テンポの良い歌が「大きさで伸び」やかに歌うことを楽しんでいる子ども達です。声と心を合わせて歌います!お楽しみに!★

頑張り屋さんの子ども達です。緊張もあると思います。当日は子どもたちのありのままの姿をえたいと思います。あたたかな眼差しをお願いします。